

組付要領書 及び部 品 表

Takakita

ブロードキャスト コンポキャスト 用

日農工標準オートヒッチOSキット

CC-OS-3

適用機種

BC2000(D)

BC2001(D)

BC3500(D)

BC3501(D)

CC2030(D)

CC2031(D)

CC3530(D)

CC3531(D)



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この組付要領書は、**コンポキャスト用日農工標準オートヒッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。また、ご使用前にはコンポキャスト本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

日農工標準オートヒッチの組付け

CC-OS-3

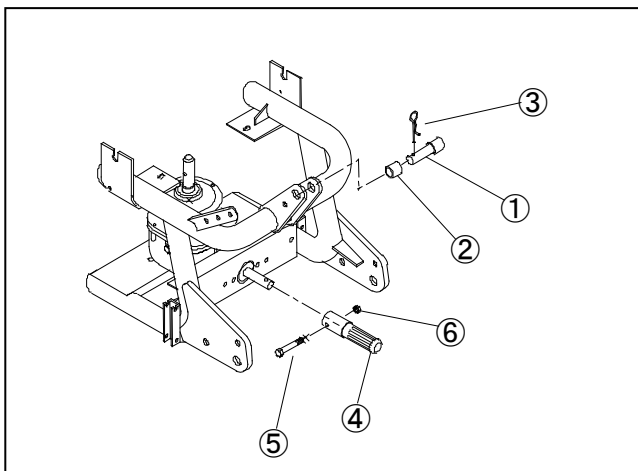
日農工標準オートヒッチO・I用部品

日農工標準オートヒッチO・I規格(OS形)をお持ちのお客様は、下記ブラケット類のオプション部品を組付けていただくと、オートヒッチで本機の着脱ができます。

◆組付け手順

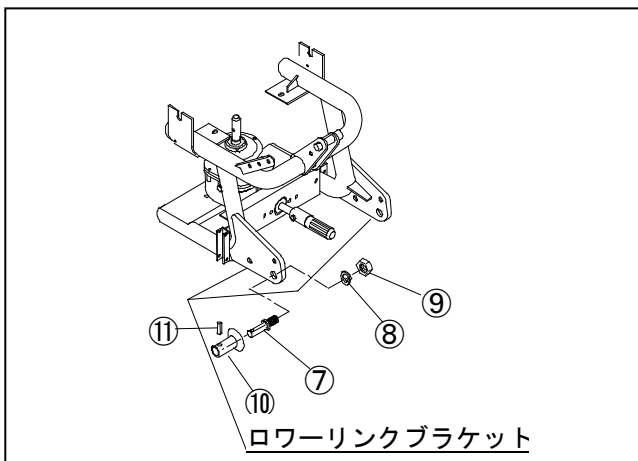
[1]本機のトップリンク部に①トップリンクピン、②トップリンクカラー、③アールピンを組付けてください。

[2]④スプライン入力軸を本機側の入力軸へ⑤ボルトおよび⑥ナットで確実に組付けてください。

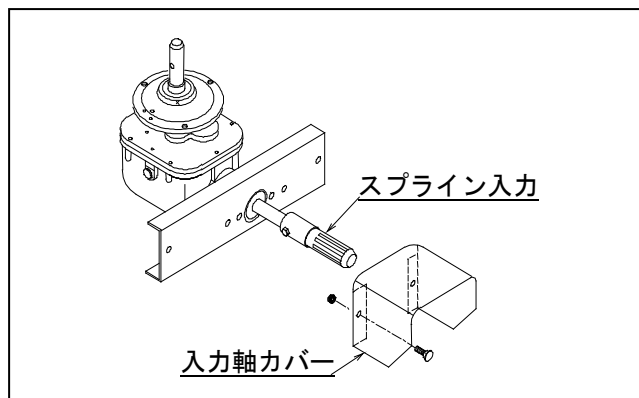


[3]⑦ローワーリンクピンをローワーリンクブラケットに⑧バネ座金、⑨ナットで、それぞれ外側向きに締め付け、固定します。

固定した⑦ローワーリンクピンに⑩ガイドカラーを挿入し、⑪ロールピン($\phi 10 \times 35$)を打ち込み固定します。

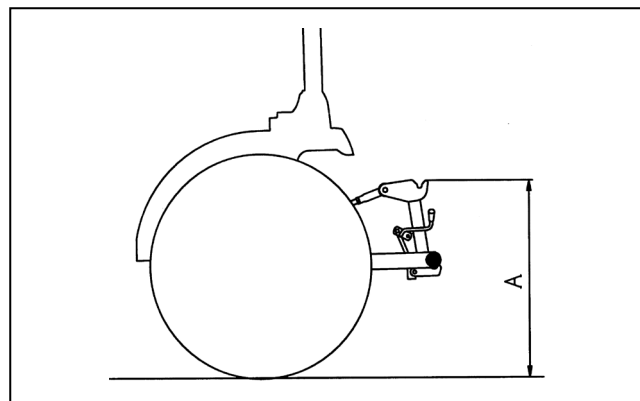


[4]入力軸カバーを取り付けてください。

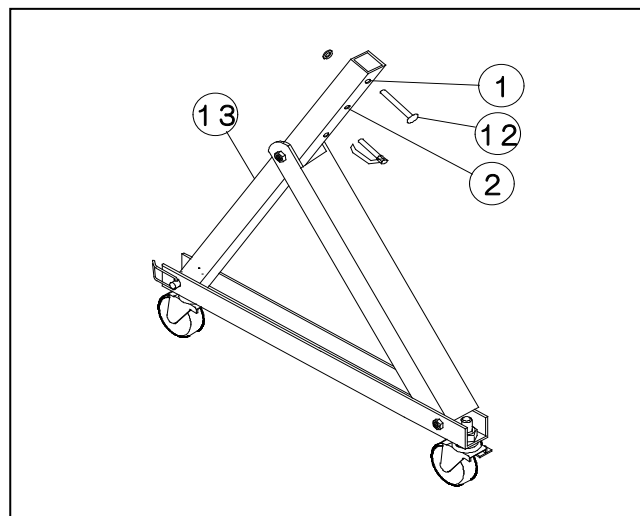


[5]スタンドの組付け

スタンドの高さは、2段階に調整できます。トラクタに装着しているヒッチの最下げ時に、地面からの高さAを測定していただき、回り止めの⑫リベットピン($\phi 10 \times 65$)の⑬スタンドに入れる位置を①か②に決定してください。



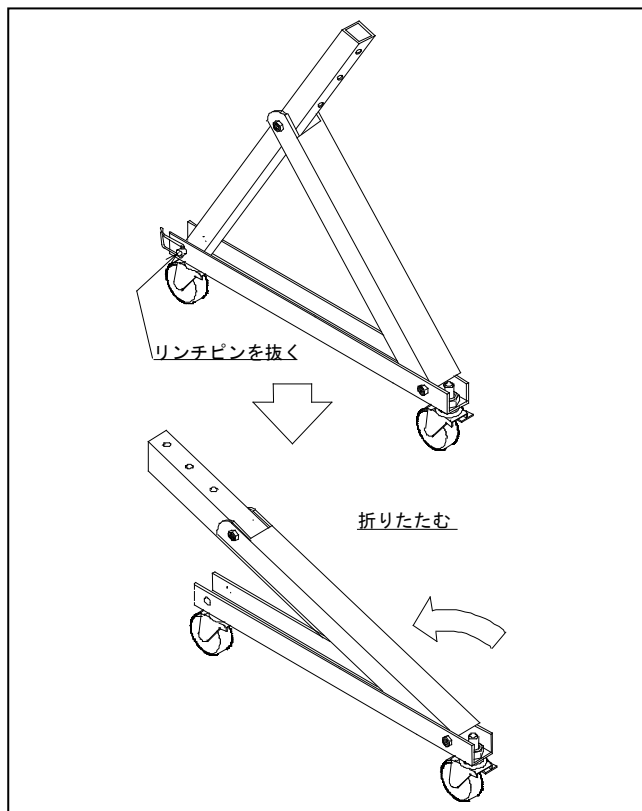
スタンドの高さを決めるのに①か②にリベットピンを入れて高さを決めてください。



[6] スタンドの格納

トラクタへ装着後、格納などの時に折りたたんで格納しておくことができます。

- ・リンチピンを抜き、折りたたんでください。



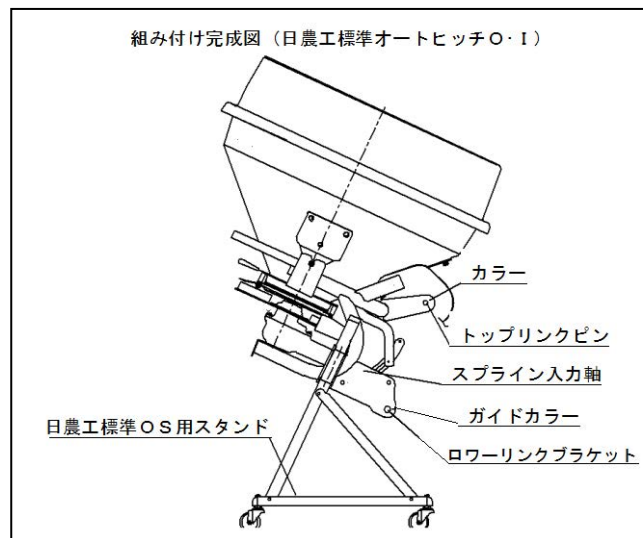
[7] 本機フレームに付属の日農工OS用スタンドを装着すると、日農工標準オートヒッチO・I 用部品の取り付けが完了します。

⚠ 注意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締め付けられているかを必ず確認してください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。



注意

- 以下の点を怠るとPTO軸の折損のおそれがありますので注意してください。
- ヒッチを大きく上げたままPTOを駆動させると、ジョイント角度が大きくなります。必ずPTO駆動をOFFにしてください。
 - ヒッチのユニバーサルジョイントのジョイントチューブに固着や長さ不良(ドン突き)が無いことを確認してください。
 - 作業機の姿勢が±5度以上傾斜している場合は、トップリンクの長さを再調整して、作業機の姿勢を水平より±5度以内になるようにしてください。